

アカメガシワ

【 *Mallotus japonicus* 】

科名 トウダイグサ科

属名 アカメガシワ属

薬効・用途

樹皮を消炎鎮痛薬とする。胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃酸過多、胆石症、腫れ物などに用いられる。



・花期：6～7月

備考

落葉高木。本州～九州、沖縄の丘陵地に自生し、朝鮮、台湾、中国南部に分布する。名は昔から葉を柏の葉と同じように食物を載せるのに用いられ、また芽が赤いことから赤芽柏のながついた。雌雄異株。